

第2回 黒井・船城地区市立小学校統合準備委員会 次第

日時：令和8年6月8日（月）19時30分～

場所：春日福祉センター「ハートフルかすが」

1 開会

2 前回会議について（資料1）

3 報告・協議事項

（1）黒井小学校児童の意見聴取について

（2）船城地区児童の通学支援（スクールバス）について

（3）通学児童及びアフタースクール利用者等の安全対策について（資料2）

（4）その他

4 次回委員会の日程について

・日 時 月 日（ ）19時30分～

・場 所

5 閉会

[illegible]

会議記録

- 会議名 第1回黒井・船城地区市立小学校統合準備委員会
- 日時 令和8年4月30日（木）19:30～21:25
- 場所 春日福祉センター ハートフルかすが大会議室
- 出席者 委員：山川 茂則、荻野 利直、荻野 匡俊、婦木 巧、駒谷 謙、
宇野 一鷹、足立 賢太、河津 貴司、谷口 大貴、芦田 直弥
長井 博史、渡辺 克己、安達 裕理子
教育委員会：片山教育長、山本部長、小森課長、西山課長、足立課長、
前田副課長兼係長、澤瀉係長、福垣係長、中村主査、山口主事
識見者：小田 敏治

1 開会

2 あいさつ 片山教育長

3 黒井・船城地区市立小学校統合準備委員会設置要綱・傍聴規則 資料1 黒井・船城地区市立小学校統合準備委員会設置要綱、資料2 黒井・船城市立小学校統合準備委員会傍聴規則について、資料に基づき、教育総務課より報告した。

4 正副委員長の選出（互選） 黒井・船城地区市立小学校統合準備委員会設置要綱第5条に基づき、委員の互選により、以下のとおり決定した。

委員長：黒井地区自治会代表 山川 茂則 委員

副委員長：船城地区自治会代表 荻野 匡俊 委員

5 報告・協議事項

- (1) これまでの協議経過及び今後の協議・調整事項について
 - ・資料3 春日地域市立小学校統合検討委員会の協議経過（概要）について、資料に基づいて教育総務課より説明した。

- ・資料4 こどもの意見聴取まとめ（船城小学校）の結果報告及び黒井小学校においてもこどもの意見聴取を行う旨を学校教育課から報告した。
- ・資料5 黒井・船城地区統合に係る協議・調整事項について、今後、協議すべき事項等の予定を教育総務課より説明した。

（2）統合後のアフタースクールについて

資料6 黒井・船城小学校統合後のアフタースクールの運営等について、こども育成課より説明した。市の方針として1つの小学校区に1箇所のアフタースクールを開設していることから統合校区に1箇所となり、統合校の使用校舎が黒井小学校校舎となるため、現黒井アフタースクールの利用を検討したところ、老朽化や収容人数等で課題があり、黒井小学校東校舎を改修し、移転することを提案した。

また、移転に伴い、近隣の道路状況を考慮した安全対策、利用児童・保護者の方の利便性向上のため、アフタースクール周辺の工事を行うこと等について説明した。

⇒子どもにとって最善の場所を検討されたところ、提案内容のと通りの場所に移転することを承認された。

なお、周辺道路等の安全対策については、引き続き、教育委員会で検討を行い、考えられる対策について、説明を行うこととなった。

〈委員の主な意見・質疑〉

委員：黒井小学校近隣の道路が狭いという課題があり、近隣は住宅があるため、拡幅は難しいが、市道鳥ヶ奥線は用地買収を行うことで、拡幅できないか。

⇒事務局：市道鳥ヶ奥線の拡幅について検討したが、山を削って道路にするのは現実問題として難しいと考える。

委員：安全対策として、一方通行を検討されているが、黒井小学校近隣道路は地域の方も多く利用され、混雑が予想されるため、街灯の設置等できる限りの安全対策をお願いしたい。

委員：認定こども園の預かり保育もアフタースクールと同様で18時が一区切りでそれ以降は延長料金がかかり、慌てて迎えに来られる保護者もおられるため、安全対策をしっかりしていただきたい。

委員：アフタースクールを利用する子どもの保護者の立場からすると小学校からより近い場所にある方が安心する。

安全対策が不十分であるという意見の大半は大人の都合で、他の場所でも道幅の狭い道路は多くある。船城の子の迎えに来られるが、そんなに多くないので、地域の方の反対意見も少ないのでは。

⇒事務局：送迎時における安全対策は重要な課題の1つだと認識しており、道路担当部署等と協議しながら、街灯・道路標識の設置等の安全対策に取り組んでいきたい。

委員：安全対策に関し、地域住民も関連するため、教育委員会としてどのような安全対策の取り組みを考えているのか地域住民に説明をしてほしい。

⇒事務局：資料作成と並行し、日程調整のうえ説明させていただく。

（3）船城地区児童の通学支援について

資料7 令和10年4月の統合後の船城地区児童の通学支援について、教育総務課より説明した。路線バスによる通学支援について、市の公共交通担当部署及びバス事業者との協

議の結果、道路状況等により路線の新設ができなかった旨を報告し、スクールバスによる通学支援を提案した。スクールバスの車両は道路状況を考慮し、マイクロバスではなくワゴンタイプの車種を2台で2往復、バス停の箇所・運行ルートについては今後、船城地区内関係者との協議により決定、運行時間は第1便が7時40分に黒井小学校着、第2便が8時に黒井小学校着とする案を提案した。

⇒スクールバスによる通学支援、車種はワゴンタイプの車両であることについて、概ね理解を得られた。

アフタースクール利用者や登下校児童の送迎車両、徒歩児童等が同時に道路を利用するため、安心・安全を最優先とした経路を検討していく。

〈委員の主な意見・質疑〉

委員：道幅が狭く信号機がないため、稀に事故が起きる場合があり、信号機の設置を検討した方が良い箇所もあるため、実現可能か不明であるが、学校として要望してはどうか。

⇒委員：準備委員会で合意形成を取れば、要望することは良いことであるとする。道路の幅員が狭く、過去にグリーンベルトの設置等ができなかった経過もあるため、実現が難しいと思われる。

（４）統合に向けた学校の取組について

資料８ 令和８年度の船城小学校と黒井小学校との交流事業について、長井委員、渡辺委員から説明された。１年生・２年生は生活科で隣接する市町への校外学習を行い、３年生は市内の公共施設等へ、４年生は神戸市への社会科見学を中心に交流事業を計画している旨を説明された。

（５）その他

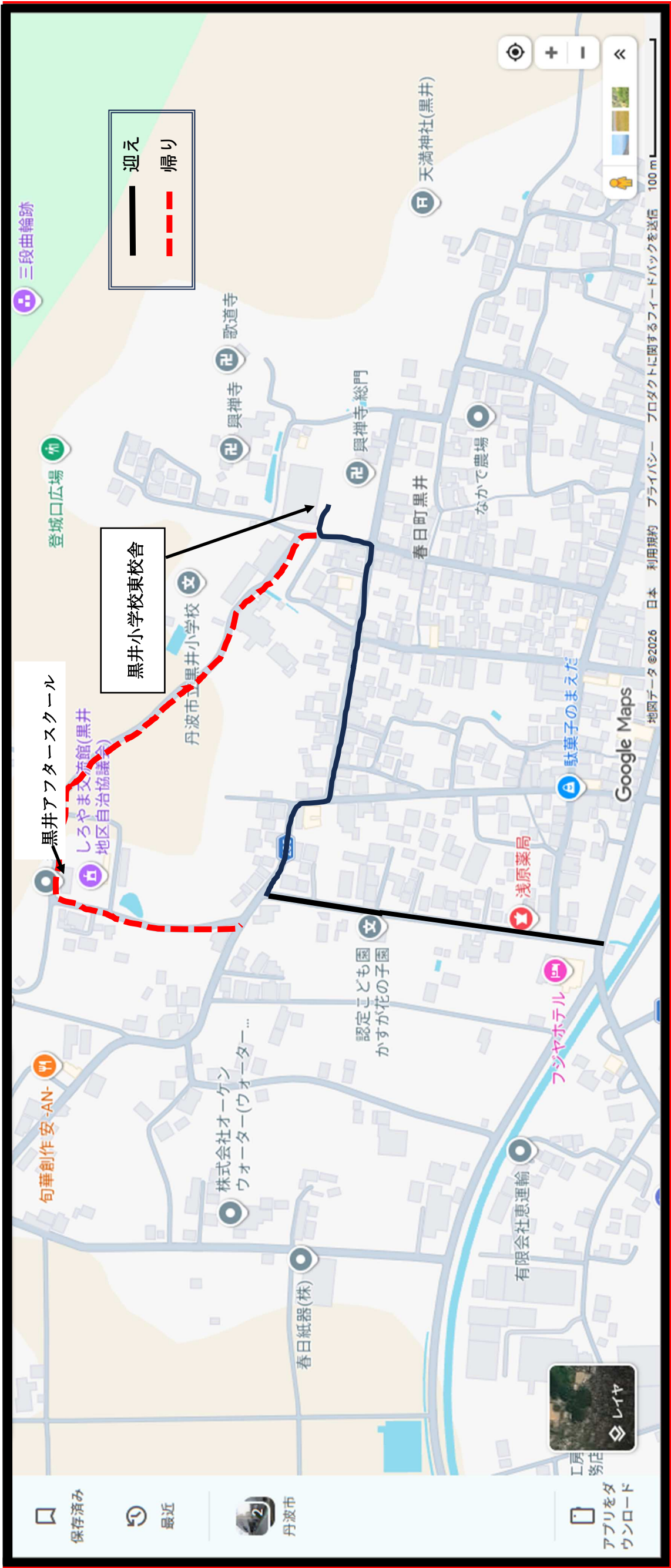
６ 次回委員会の日程について

令和８年６月８日（月）１９時３０分～ 春日福祉センター ハートフルかすが大会議

７ 閉会

副委員長

【アフタースクール利用児童保護者車両通行経路】



【黒井小学校 東校舎】



【出入口】（遠景）



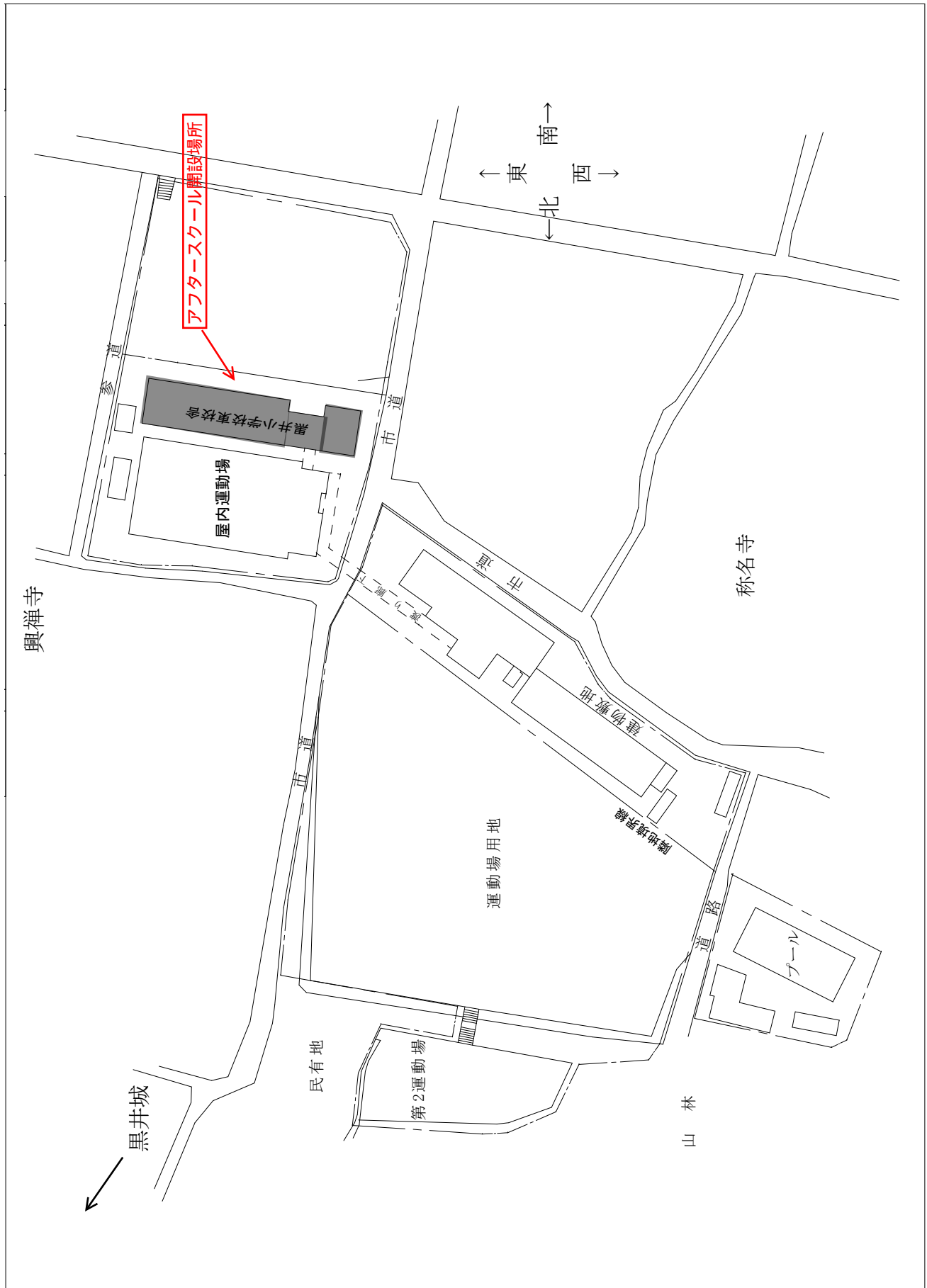
【出入口】（近景）

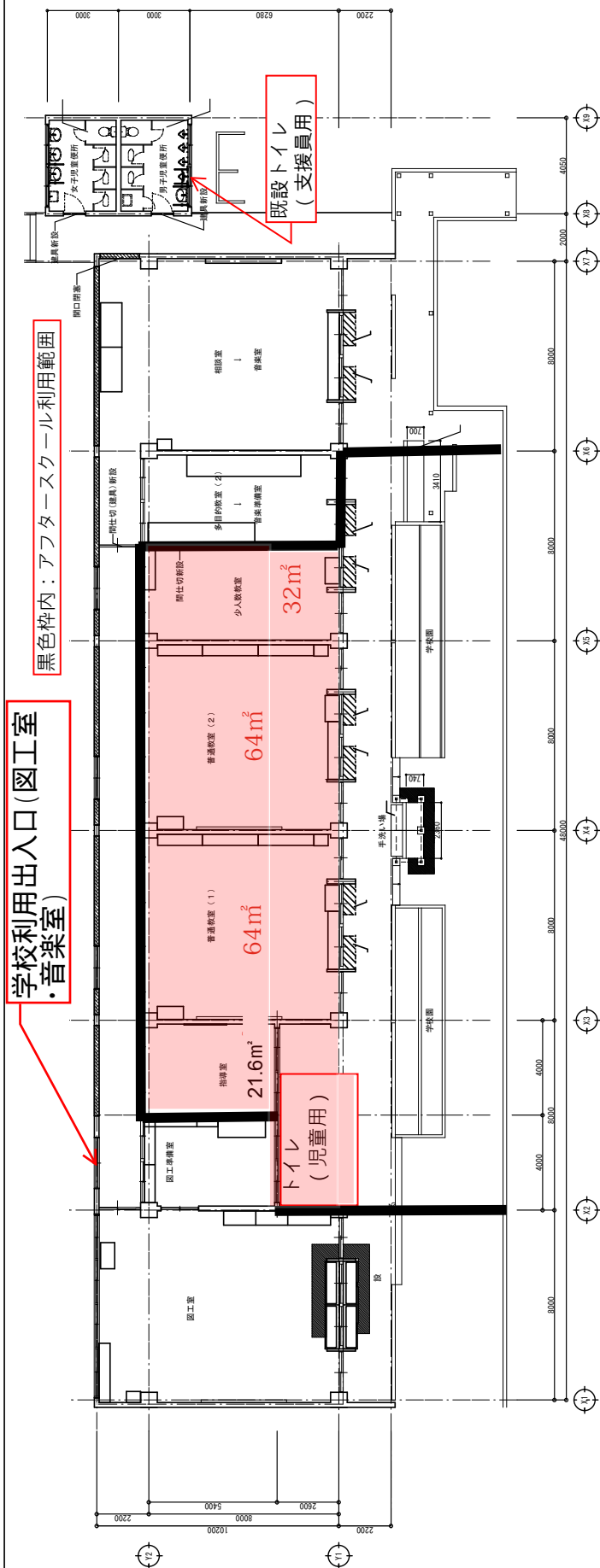


【交通安全対策】

1. 関西電力柱への注意喚起看板の共架
2. 徐行周知看板の設置
3. ロードミラーの設置

※道路河川課との協議が必要





黒井・船城アフタースクール統合に伴う
黒井小学校東校舎レイアウト
令和8年5月丹波市教育委員会事務局 ことも育成課